

再生可能エネルギーの活用

大田清掃工場には、再生可能エネルギーを活用するため、太陽光パネルを設置しています。

太陽光パネルは、屋上、壁面、ガラスに450枚以上設置しており、総発電容量は105kWです。また、令和4年度の年間発電電力量は145,620kWh(令和4年4月～令和5年3月)で、天候に左右されますが、平均して1日の発電電力量はおよそ400kWhでした。この発電電力量は、一般家庭が1日に使用する電力量を8.5kWhとすると約47日分の使用電力量に相当します。

地球温暖化による気候変動問題が加速している昨今、太陽光パネルによる再生可能エネルギーの活用は脱炭素社会の実現に貢献しています。



津波避難訓練を実施しました

大田清掃工場は、大田区との協定に基づき津波発生時における京浜島内に勤めている方々の一時避難施設となっており、地域防災にも貢献しています。令和5年9月19日に、東京都京浜島工業団地協同組合連合会の主催による津波避難訓練を実施しました。近隣から66名の方々が大田清掃工場に参集し、避難場所となる7階見学者スペースまでの避難経路を確認しました。

避難する方が避難場所まで迅速に移動できるように、多くの経路案内を設置しています。



訓練の様子



避難経路案内

施設紹介

「収集車がごみを降ろす場所：プラットホーム」

計量を終えたごみ収集車はプラットホームに向かいます。プラットホーム入口にある車両センサーを通過すると、自動アナウンスで数字が書かれている大きな扉のバンカゲートへ案内され、ごみをごみバンカへ投入します。

プラットホームでは、ごみバンカ内の臭気が外に漏れないよう様々な対策をしています。プラットホーム出入口にあるシャッターとバンカゲートは、自動制御により、ごみ収集車通過時やごみをごみバンカに投入する時だけ開くようにしています。

また、出入口上部から下に送った空気で作った壁（エアカーテン）を作ったり、プラットホームやごみバンカ内の空気をごみ燃焼に利用したりすることで、臭気が外に漏れない工夫をしています。



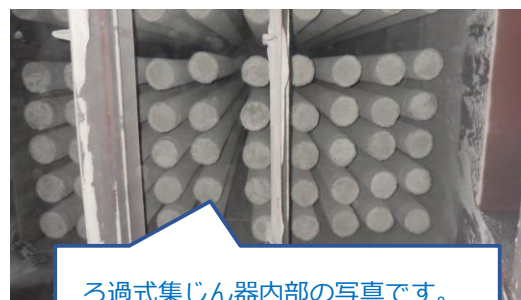
第一工場プラットホーム

「排ガス中のダイオキシン類対策：ろ過式集じん器等」

大田清掃工場では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、排ガスにおけるダイオキシン類の測定を定期的に行っており、測定結果は基準値を常に下回っています。ごみを処理する過程で、ダイオキシン類の発生抑制と除去のため様々な対策を行っています。

まずは、ごみの焼却で発生した排ガスを200℃以下まで急冷する等、それぞれの設備で適切な温度管理を行い、ダイオキシン類等の発生を抑制しています。設備面では「ろ過式集じん器」と呼ばれる空気清浄機のようなものがあり、「ろ布」と呼ばれるフィルターでダイオキシン類が含まれるばいじんを除去しています。

このように、徹底した排ガスの管理を行い、環境への影響を最小限にとどめる努力を行っています。引き続き、公害防止と環境保全に努め、環境負荷の低減に取り組んでいきます。



ろ過式集じん器内部の写真です。

筒状のものがろ布になります。

新工場：ろ布960本(1炉あたり)

第一工場：ろ布540本(1炉あたり)

工場見学会のお知らせ

大田清掃工場では「個人見学会」と「団体見学」を下記のとおり実施しています。見学を希望される方は、大田清掃工場までお気軽にお問い合わせください。

そのほか、交通手段等の詳細は、清掃一組のホームページを御覧ください。

清掃一組



受付人数	実施日	実施時間
個人 9名以下	毎月第2土曜日	13:30~15:00
団体 10名以上 99名以内	月曜日~金曜日(祝日を除く)	9:30~11:00 又は 13:30~15:00

※年末年始、定期点検補修工事期間等を除く。



大田清掃工場
受付時間

見学のお申込み・お問合せはこちら

03-3799-7555

月曜日~土曜日 9:00~17:00

シップ



印刷物登録

令和5年度 第110号